

# 1. 生分解性プラスチックの市場規模

## (1) 市場規模

現在、プラスチックの生産は世界規模で **1.9 億トン** (2002 年) と巨大である。

日本では **2002 年の生産は 1,361 万トン** で、2002 年の国内消費は 1,057 万トン、廃棄は 990 万トンである。

これに対して、生分解性プラスチックの市場は、われわれの作業では **2003 年 8,500 トン** と推定された。

生分解性プラスチックは、1989 年以来 15 年に渡る関係各社、各機関の研究開発が行われてきたが、プラスチックに対して 0.06% で、汎用化には程遠いのが現状である。

2005 年は「**愛・地球博**」で取り上げられており、普及への弾みが期待されている。

生産面では、まずポリ乳酸で米 **カーギルダウ社** が 2001 年 **14 万トン** の本格的プラントを稼働させ、日本では、トヨタ自動車社が 2004 年 **1,000 トン** の実証プラントを稼働させている。トヨタ社は、世界で砂糖黍や薩摩芋の「原料立地」により最終的に 2 千万トンの生産(事業化)を目指しているという。

石油系では、BASF 社が 8,000 トン、Dupont 社が 10 万トン、昭和高分子社 3,000 トン、ダイセル化学工業社 1,000 トン、三菱化学社 6,000 トン、Ire 化学社 3,500 トン、澱粉系ノバモント社 2 万トン等の生産能力があるとされている。